女子大学生の就職活動に 結婚・出産の人生設計が及ぼす影響 ーインタビュー調査を通じて一



#### 問題関心と目的

現代女性のライフスタイルは多様化している。昨今では、「既婚女性=専業主婦」という風潮は薄まり、結婚・出産をしても働き続ける女性が増加



結婚・出産の人生設計が就職活動を通してどのように変わり、女子大学生にどんな影響を及ぼしたかについて分析することを目指した。



## 調査概要

■調査方法:インタビュー調査

アンケート調査

■調査期間:2009年9月~10月

■調査対象者:2010年度の就職を目的と

した就職活動を経験した

奈良女子大学生15人

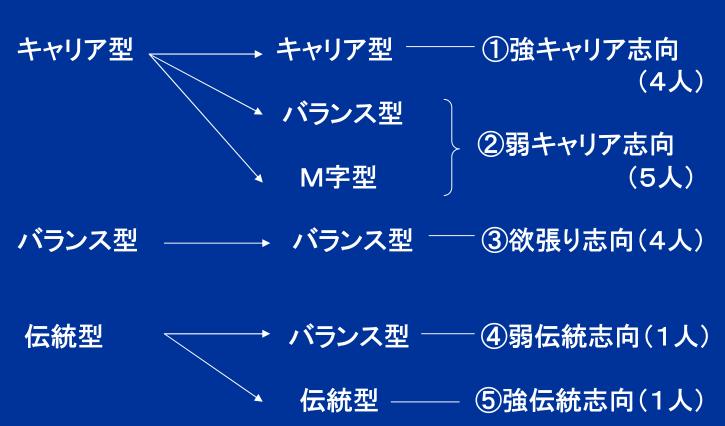


# 人生設計のパターン

パターン名	概要
キャリア型	絶対に働き続けたいという希望を持 つパターン。
バランス型	子育てと仕事をバランスよくこなしていきたいパターン。
M字型	結婚、出産を機に仕事を辞め、ある 程度子どもの手が離れたら仕事に復 帰したいパターン。
伝統型	結婚、出産を機に仕事を辞め、専業 主婦となり、再就職を希望しないパ ターン。

# 回答者の人生設計の変遷

就職活動を始めた頃 就職活動を終える頃 カテゴリー



## 弱キャリア志向の回答例

「就職活動を始めた頃はずっと働くものだと思ってたけど、今は辞めてもいいかなって思ってる。結婚や出産はそんなに遠くない未来で、そういうのを考えなきゃいけない年なんだって考えるようになった。就職活動中は付属だったのに、今は逆転してこっちに重きをおいてる。」



## 弱伝統型の回答例

「子どもが生まれるまでは働きたい。今の段階ではそんなに仕事したいとは思わないけど、(子どもが生まれたら)15時までとかで働くおばちゃんを見て、そういう風に働くのとかもありかなって思うようになった。」



### 結論

試職活動を通して自身の理想と社会の現実に 気付き、社会のニーズに合わせるように変化 していた。

- 変化した要因
- ・就職活動での経験
- ・家族役割の考え方

母親の職業

母親以外のロールモデルの女性に出会う経験

